

療・介護 改革の主役たち

トータルケア・システム(福岡県)

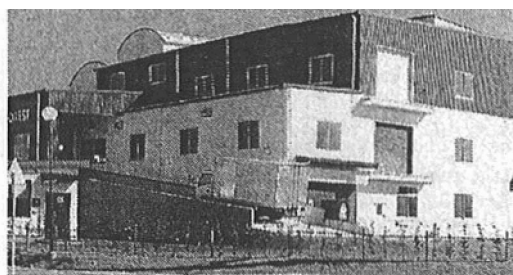
大牟田市)が本格稼働する四月に合わせ、同システムが生み出す原料の販売ルートの開拓を急ぐ。



長武志社長

《会社概要》

- ▽本社所在地 福岡市博多区博多駅東3-9-26
- ▽電話 092-433-1033
- ▽主な事業 使用済み紙おむつのリサイクル



4月に本格稼働する使用済み紙おむつのリサイクル工場(福岡県大牟田市)

入れると、浸ルシステムを開発。二遷庄の原理で〇〇二年、特許も取得しポリマーが吸いた。い取った汚物の水分が排出される。水分が抜けたポリマーは乾燥してリサイクルの社長も務める長社長が、急増する使用済み紙おむつの廃棄を抑えようとなり、「焼却や廃棄といった処理の必要がなくなり、紙おむつすべてをリサイクルできるようになった」(長武志社長)。

トータルケア・システムは〇一年設立。紙おむつ販売のケア・ルートサービズ(福岡県大野城市)の社長も務める長社長が、急増する使用済み紙おむつの廃棄を抑えようとなり、「焼却や廃棄といった処理の必要がなくなり、紙おむつすべてをリサイクルできるようになった」(長武志社長)。

昨年八月には約六億円を投資、同県大牟田市の大牟田エコタウンに一日二十トの使用済み紙おむつを処理できる専用工場(西部支社 須永大二期)を建設。現在は同十程度を処理する試運転の段階で、今年四月をめどに本格稼働に移行する。

同時に紙おむつメーカーへの原料パルプ供給も始める。〇五年九月期の単独売上高の見込みは一億七千万円。〇六年九月期は二億八千万円に拡大する考えだ。

今後は「紙おむつメーカー向けにリサイクルパルプを安定供給する」(長社長)ため、全国に同様の処理工場を立ち上げる考えだ。その後は中国など海外での事業展開も目指している。

使用済み紙おむつ再利用

トータルケア・システムは、病院や福祉施設から回収した使用済み紙おむつをミキサーで破砕し、分離装置に入れてパルプや吸水材のポリマー泥の水分を吸収してゼリムは福岡大学工学部の松

トータルケア・システム(福岡市)は、使用済み紙おむつを活用したリサイクルシステムを開発した。病院や福祉施設で使い捨てられたおむつからパルプやポリマーを回収、おむつのほか土壌改良剤の原料にも転用し、ほぼ一〇〇%をリサイクルする。リサイクルを担う処理工場(福岡県

その後、塩素消毒や脱水、乾燥などの工程を経て再資源化する仕組み。パルプは新しい紙おむつの原料になるほか、ポリマー法が見つからず、完全な

藤原司教授と研究を進めた水溶液を使えば分離できることを突き止めた。水溶液に紙おむつを

法が見つからず、完全なせて、し尿より濃度を高た。水溶液に紙おむつを